

- 問1 ベトナム政府による外国からの投資を促す政策の内容や、同国への外国企業による投資額の推移をまとめた資料によると、近年、投資額が著しく増加している傾向が見て取れます。このような変化が起きた背景にある、ベトナム政府の経済政策の狙いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 宮城県公立入試 類似）
1. 伝統的な農業を輸出の柱に据えるため、工業への投資を減らして農村部のインフラ整備を最優先した。
 2. 経済成長に不可欠な外貨や技術を導入するため、外国企業の誘致に向けた環境整備を充実させた。
 3. 国内企業が国際競争に巻き込まれないよう、外国企業の進出を制限する保護貿易政策を強化した。
 4. 東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国以外からの投資を法律で禁止し、域内での経済協力のみに限定した。
- 問2 乗用車の生産体制について、日本と、新興国であるインドやブラジルの状況を比較した説明として最も適切なものはどれですか。2016年の統計資料によると、日本の生産上位5社はすべて自国（日本系）企業で占められていますが、インドやブラジルにはこれとは異なる特徴が見られます。（2019年 群馬県公立入試 類似）
1. インドやブラジルでは、日本系、韓国系、ドイツ系などの外国資本の企業による生産の割合が高い。
 2. インドでは、上位5社のほとんどをアメリカやイタリアなどの欧州企業のみが占めている。
 3. ブラジルでは、日本系企業が進出しておらず、自国企業と韓国系企業のみで生産が行われている。
 4. インドやブラジルでは、自国の産業を保護するため、自国メーカーのみで生産を行っている。
- 問3 ヒンドゥー教を信仰する人々が、生活の一部としてガンジス川などの川で「沐浴」を行う目的として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 一か月の断食期間に入る前に、身体を清潔に保つ儀式を行うため。
 2. 聖なる川の水によって、これまでの罪を洗い流し、心身を清めるため。
 3. 厳しい修行の一環として、冷たい水に耐える忍耐力を養うため。
 4. 砂漠地帯で不足する生活用水を効率的に活用するための公衆浴場として利用するため。
- 問4 トルコの食文化とその背景について説明した文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 仏教の教えに基づき肉食を避ける習慣が定着しており、大豆製品や米を中心とした穀物料理が伝統的な食生活の基盤となっている。
 2. 歴史的にコーヒーとの関わりが深いのが、共和国時代以降は自国での生産奨励もあり紅茶の消費が拡大し、羊肉やトマトを使ったスープなどが日常的に親しまれている。
 3. 冷涼な気候を活かしたライ麦の栽培が盛んであり、主食としての黒パンとともに、牛肉を主とした加工食品が輸出の大部分を占めている。
 4. 旧宗主国であるイギリスの文化を強く受けて紅茶が普及したが、主食はキャッサバやトウモロコシであり、沿岸部では魚介類の消費が極端に多い。
- 問5 2017年の統計において天然ゴムの生産量が世界第1位であり、米の輸出量でも世界有数の規模を持つ国はどこですか。この国はASEAN（東南アジア諸国連合）の加盟国であり、国民の多くが仏教を信仰しています。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
1. インド
 2. タイ
 3. インドネシア
 4. ベトナム
- 問6 1980年代から中国が実施した「改革・開放」政策において、シェンチェン（深圳）などの沿岸部の都市に設けられ、海外の資本や高度な技術を積極的に導入した地域を何と呼びますか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 直轄市
 2. 経済特区
 3. 特別行政区
 4. 自治区
- 問7 インドの自動車産業において、日本の自動車メーカーなどがインド国内に工場を建設し、現地生産を拡大させている主な理由として最も適切なものはどれですか。（2018年 広島県公立入試 類似）
1. インド政府が輸入品に対して関税を完全に撤廃したため、部品の輸入コストが下がったから
 2. 生産した自動車のほとんどを周辺諸国へ輸出することを主目的として、安価な労働力を確保するため
 3. インド国内の市場規模が小さいため、関税を支払ってでも海外市場への輸出を優先させるため
 4. 完成車を輸出する際にかかる高額な関税を回避し、販売価格を抑えることで国内販売を伸ばすため
- 問8 2001年のベトナムにおける輸出統計において、輸出総額の12.0%を占めて第3位にランクインしていた、エビなどの加工品を含む品目として正しいものを次から選びなさい。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 魚介類
 2. 石炭
 3. 機械類
 4. 鉄鋼
- 問9 スマトラ島やジャバ島など広大な島々からなるインドネシアの文化的な背景について、周辺の国々と比較した説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
1. 中東方面との交易を通じて広まったイスラム教が、多民族を統合する精神的な基盤となっている。
 2. タイやカンボジアと同様に、古代から続く上座部仏教が国民の生活の隅々にまで浸透している。
 3. 特定の宗教に偏ることなく、バリ島を中心にヒンドゥー教が国家全体の第一宗教となっている。
 4. かつてスペインの植民地であった歴史から、フィリピンと同様にカトリックの信仰が主流である。
- 問10 1970年代末から中国が進めた「改革・開放」政策において、海外の資本や技術を積極的に導入するために、シェンチェン（深圳）やアモイ（廈門）などの沿岸部の地域に設けられた特別な地区を何といいますか。（2026年 茨城県公立入試 類似）
1. 特別行政区
 2. 民族自治区
 3. 経済特区
 4. 経済連携協定
- 問11 ASEAN（東南アジア諸国連合）が近年、域内の経済発展を促すために進めている具体的な政策やその状況について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
1. ASEAN経済共同体（AEC）を発足させ、域内の関税を原則的に撤廃することで、物やサービス、投資の自由化を推進している。
 2. 環太平洋地域の国々と連携し、アジアだけでなく北米や南米を含む広大な自由貿易圏を構築することのみを活動の目的としている。
 3. 加盟国を工業国のみに限定し、農業や一次産品の輸出を中心とする国々の加盟を認めないことで、高度な経済成長を維持している。
 4. 全ての加盟国で単一の共通通貨を導入し、各国独自の金融政策を廃止してヨーロッパのような完全な経済統合を目指している。
- 問12 パソコンやスマートフォンの生産額で世界シェアの多くを占め、「世界の工場」とも呼ばれる国に関する説明として、人口問題の観点から正しいものを選択肢から選びなさい。（2023年 高知県公立入試 類似）
1. 多民族国家としての調和を優先し、特定の民族に対する人口制限を強化している。
 2. かつて強力な人口抑制策をとっていたが、現在は労働力確保のために少子化対策へと方針を転換している。
 3. 先進国からの移民を大量に受け入れることで、ハイテク産業の労働力を補っている。
 4. 広大な国土を開発するため、一貫して人口増加を奨励する政策をとり続けている。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 経済成長に不可欠な外貨や技術を導入するため、外国企業の誘致に向けた環境整備を充実させた。	ベトナム政府は、自国の経済発展を加速させるために必要な資金（外貨）や高度な技術を海外から導入することを目指しました。そのため、外国企業が活動しやすい環境を整える「工業団地」の整備や「税金の免除」といった積極的な誘致政策を展開しました。その結果、製造業を中心とした多くの「外国企業」がベトナムへ進出し、輸出額の増大や雇用の創出につながり、統計上の「投資」額も右肩上がりで見られ、推移することとなりました。
問2	答え 1 インドやブラジルでは、日本系、韓国系、ドイツ系などの外国資本の企業による生産の割合が高い。	インドやブラジルといった新興国における工業化は、先進国の多国籍企業による直接投資や現地工場の設立によって進展してきた歴史があります。そのため、自国メーカーが中心となって生産を行う日本などの先進国とは異なり、外国資本の企業が生産シェアの多くを占めるという特徴があります。特にインドでは日本系や韓国系企業、ブラジルではドイツやアメリカ、イタリア、日本などの企業が生産上位に名を連ねています。
問3	答え 2 聖なる川の水によって、これまでの罪を洗い流し、心身を清めるため。	ヒンドゥー教において水には不浄を払い、清める力があると信じられています。特にガンジス川は女神が姿を変えた聖なる川とされており、そこで沐浴することは信者にとって最大の功德の一つと考えられています。断食（ラマダン）は主にイスラム教の習慣です。
問4	答え 2 歴史的にコーヒーとの関わりが深いが、共和国時代以降は自国での生産奨励もあり紅茶の消費が拡大し、羊肉やトマトを使ったスープなどが日常的に親しまれている。	トルコは世界的に有名な「トルコ・コーヒー」の文化を持ちますが、20世紀の共和国成立以降、政府が北東部の黒海沿岸での茶の栽培を推進したことで、現在は紅茶（チャイ）が国民的な飲料となっています。また、イスラム教徒が多い背景から豚肉ではなく羊肉（マトンやラム）が主に使われ、トマトなどの野菜と合わせた煮込み料理やスープが特徴的です。
問5	答え 2 タイ	タイは東南アジアに位置する立憲君主制の国家で、熱帯の気候を活かした天然ゴムの栽培が極めて盛んです。また、チャオプラヤ川流域などの広大な平野を利用した稲作が伝統的に行われており、世界的な米の輸出拠点となっています。文化的には国民の約9割以上が仏教徒であり、街の至る所に寺院が見られるなど、生活に宗教が深く根付いているのが特徴です。
問6	答え 2 経済特区	中国は1970年代末から「改革・開放」政策へと転換し、1980年代にシェンチェンやアモイなどを指定しました。税制上の優遇措置などを設けて外国企業を誘致したことで、これらの地域は急速な工業化を遂げ、中国の経済成長をけん引する役割を果たしました。
問7	答え 4 完成車を輸出する際にかかる高額な関税を回避し、販売価格を抑えることで国内販売を伸ばすため	インドでは輸入品に対して高い関税が課せられるため、他国で製造した完成車を輸出すると販売価格が高くなり、競争力が低下します。そこで、インド国内に工場を建てて現地生産を行うことで、関税負担をなくし、価格を抑えて巨大な国内市場での販売台数を伸ばす戦略が取られています。
問8	答え 1 魚介類	ベトナムでは、2000年代初頭から豊かな水産資源や長い海岸線を活かした養殖業が盛んになり、エビを中心とした加工品の輸出が主要な外貨獲得源となりました。2001年当時の統計では、原油や衣類に次ぐ主要な輸出項目となっており、日本などへも多く輸出されています。
問9	答え 1 中東方面との交易を通じて広まったイスラム教が、多民族を統合する精神的な基盤となっている。	インドネシアは多様な民族や言語を持つ国家ですが、その多くがイスラム教を信仰していることが国の一体感を生む要素の一つとなっています。歴史的に香辛料貿易の拠点として発展したため、商人を通じてイスラム教が広まりました。なお、選択肢にある仏教はタイなどの大陸部、カトリックはフィリピン、ヒンドゥー教はインドネシア内ではバリ島など一部の地域に限られる特徴です。
問10	答え 3 経済特区	中国は1970年代後半から、市場経済を導入して近代化を図る「改革・開放」政策に転換しました。その一環として、海外企業の進出を促すために税制上の優遇措置などを与える「経済特区」を沿岸部に設置しました。これにより、中国は「世界の工場」と呼ばれるほどの急速な経済発展を遂げましたが、一方で内陸部との所得水準の差が広がる要因にもなりました。
問11	答え 1 ASEAN経済共同体（AEC）を発足させ、域内の関税を原則的に撤廃することで、物やサービス、投資の自由化を推進している。	2015年にASEAN経済共同体（AEC）を立ち上げ、人口約6億人を超える巨大な単一市場の形成を目指しています。これにより域内の関税が段階的に撤廃され、外国企業の工場誘致や加盟国間での貿易が活発化し、世界の成長センターとしての役割を強めています。通貨の統合や主権の譲渡は行わず、各国の多様性を尊重する「ASEAN方式」と呼ばれる緩やかな連携が特徴です。
問12	答え 2 かつて強力な人口抑制策をとっていたが、現在は労働力確保のために少子化対策へと方針を転換している。	2015年時点の統計でパソコンやスマートフォンの世界生産シェアが極めて高い中国は、豊富な労働力を武器に工業化を進めてきました。しかし、1970年代末からの「一人っ子政策」の影響で現役世代が減少に転じるという課題に直面しました。そのため、政府は2010年代半ばから段階的に制限を緩和し、現在は出産を奨励する少子化対策へと舵を切っています。